

「星の写真」を写すために必要なものは？

— カメラの取扱説明書から —

● カメラ

星を写すには、シャッターを数十秒以上あけ続けることのできるカメラが必要です。できれば、シャッタースピードを自分で変えられ、B(バルブ)というシャッターモードがある一眼レフカメラがあるとよいでしょう。

ただし、コンパクトカメラでも撮影は可能です。

・夜景モードなどがある

(ストロボ発光を禁止にできる)

・シャッタースピードが自動でも数秒以上あるカメラでしたら、夕暮れなどのに「星の風景」の撮影ができるでしょう。

カメラの取扱説明書の「仕様」を見て、手持ちのカメラでもチャレンジできるか、確かめてみましょう。

● 三脚

カメラを撮影する向きに固定するために必要です。数十秒もの間、まったく動かないようにして手で持っているのは不可能です。



「星の写真」を撮るためにカメラなどを組み立てた様子(例)

仕様

型式	電子制御および機械制御式35mm一眼レフレックスフォーカルプレーンシャッターカメラ
使用フィルム	パトローネ入り35mmフィルム各種
画面サイズ	24×36mm
レンズマウント	ニコンFマウント
シャッター	上下走行式メタルフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	A(絞り優先オート): 8~1/4000秒無段階電子制御式(表示は1~1/4000秒) マニュアル: Bulb, 1~1/4000秒、機械制御式
ファインダー	ペンタプリズム使用、アイレベル式
アイポイント	14mm(-1.0m ⁻¹)
ファインダースクリーン	K3型(スプリットマイクロ式、クリアマツスクリーンII改)標準装備、
ファインダー視野率	約93%(対実画面)
ファインダー倍率	0.83倍(50mm標準レンズ使用、∞時)
ファインダー内表示	シャッタースピード、露出計指針、シャッター指針、直読絞り値、露出補正マーク、レディライト
ミニ	クイックリターンボタ

ここをチェック!

● レリーズ

三脚と同じように、何十秒から、時には何時間もカメラのシャッターを指で押すことはできません。

一眼レフカメラでしたら、ほとんどは「レリーズ」という道具をシャッターボタンに取り付けることができます。これがあれば、指の代わりにシャッターボタンを押し続けてくれます。

なお、最近のカメラやデジタルカメラの場合には「リモートコード」などの名前でも、レリーズと同じ機能をする道具がカメラ専用にありますので、それを用意します。

もし、これらの道具があれば、ぜひ講座当日にご持参ください。

「自分のカメラで撮れるかしら」と不安な場合も、講座当日にカメラと取扱説明書をご持参ください。

